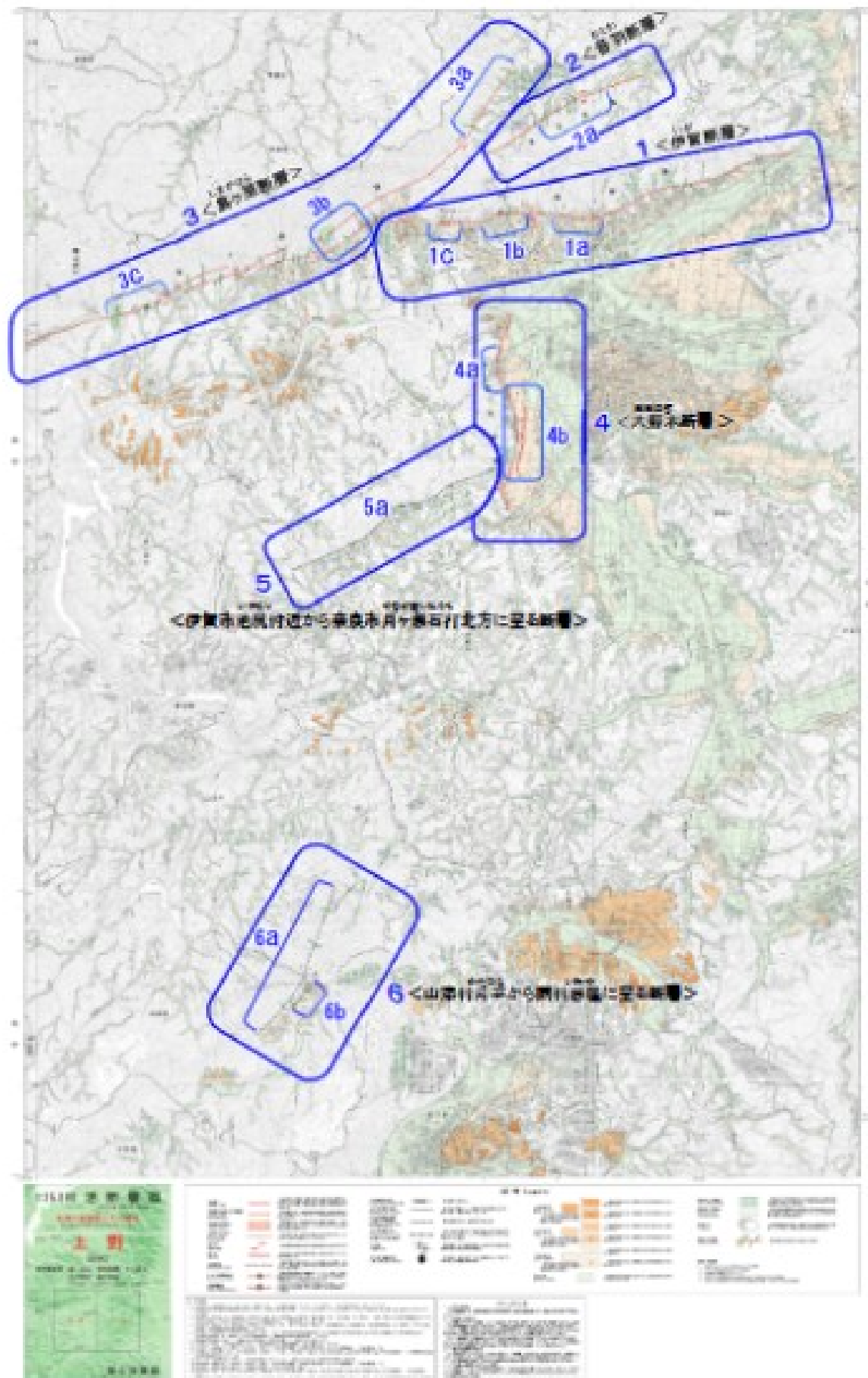
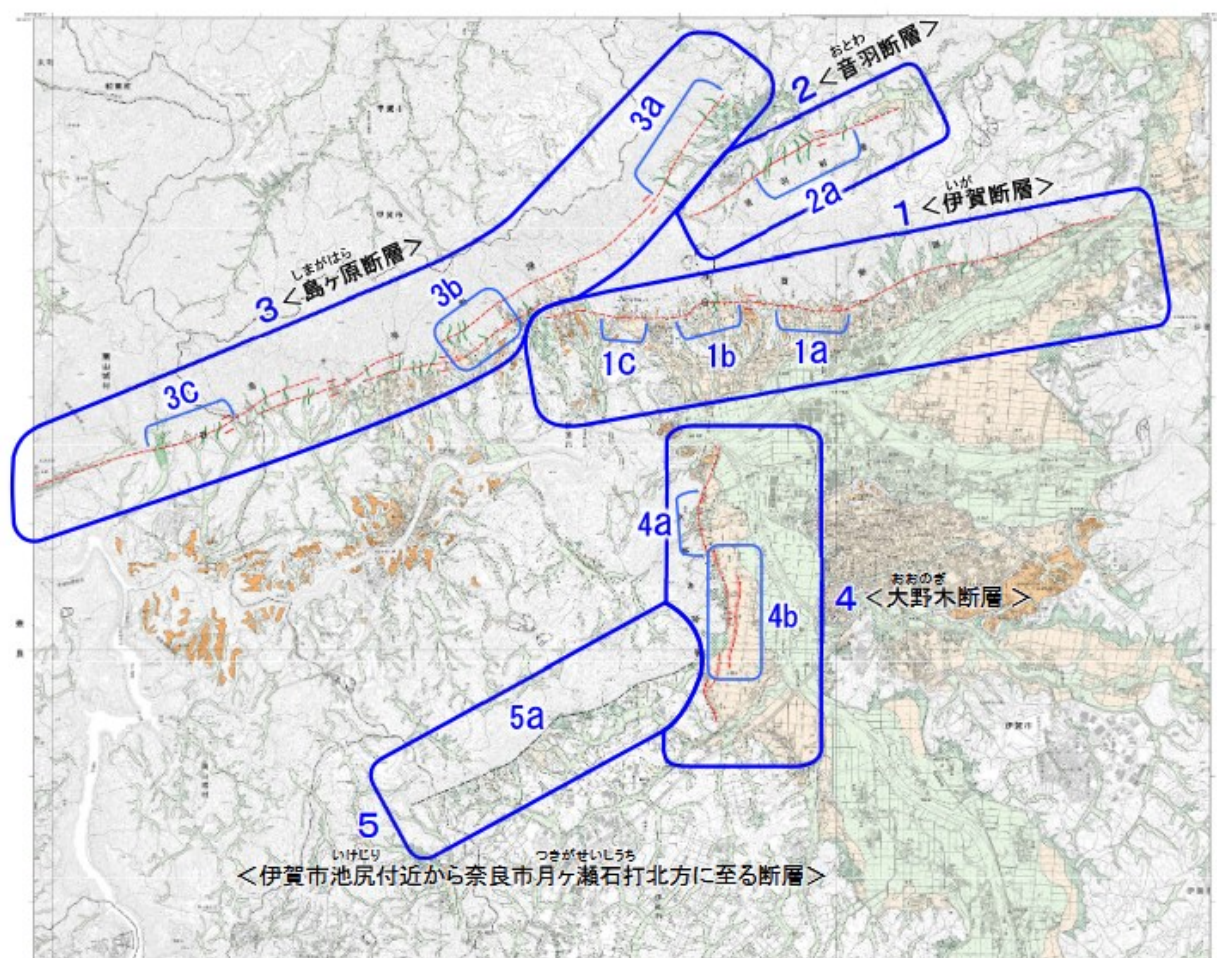


国土地理院による近辺の活断層

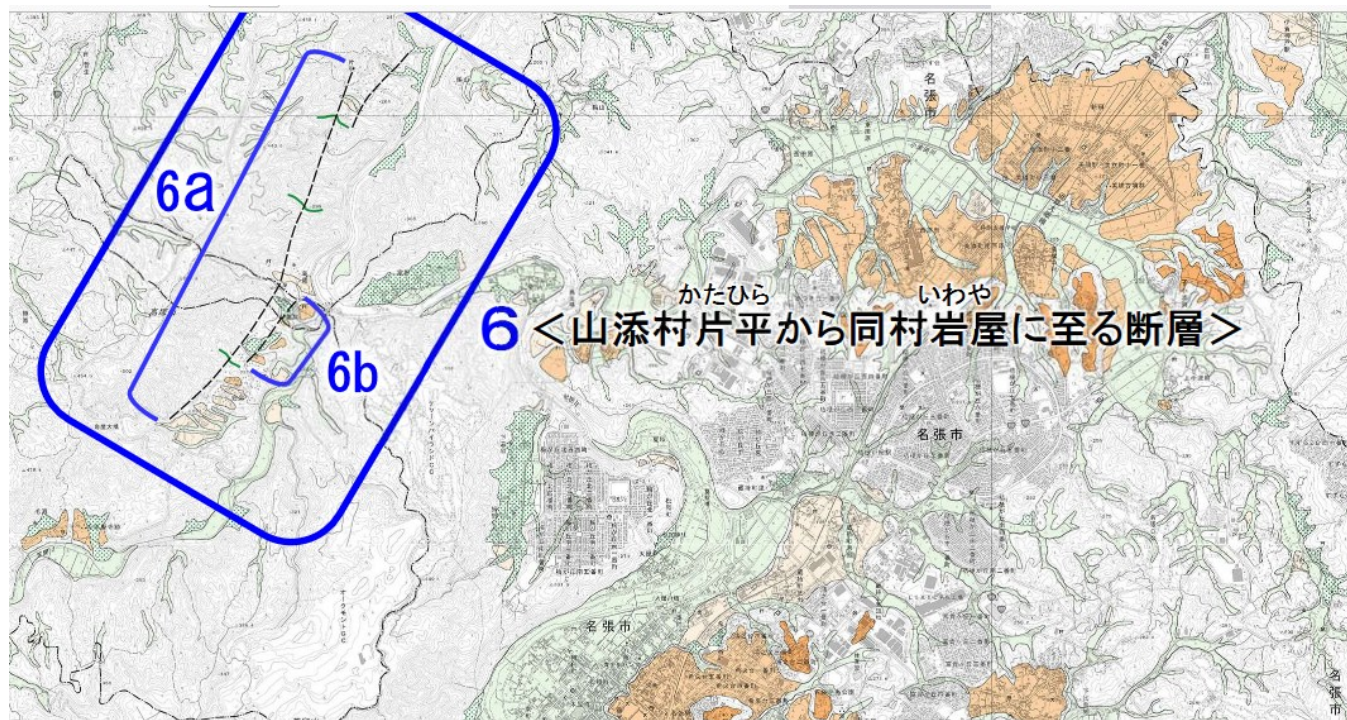
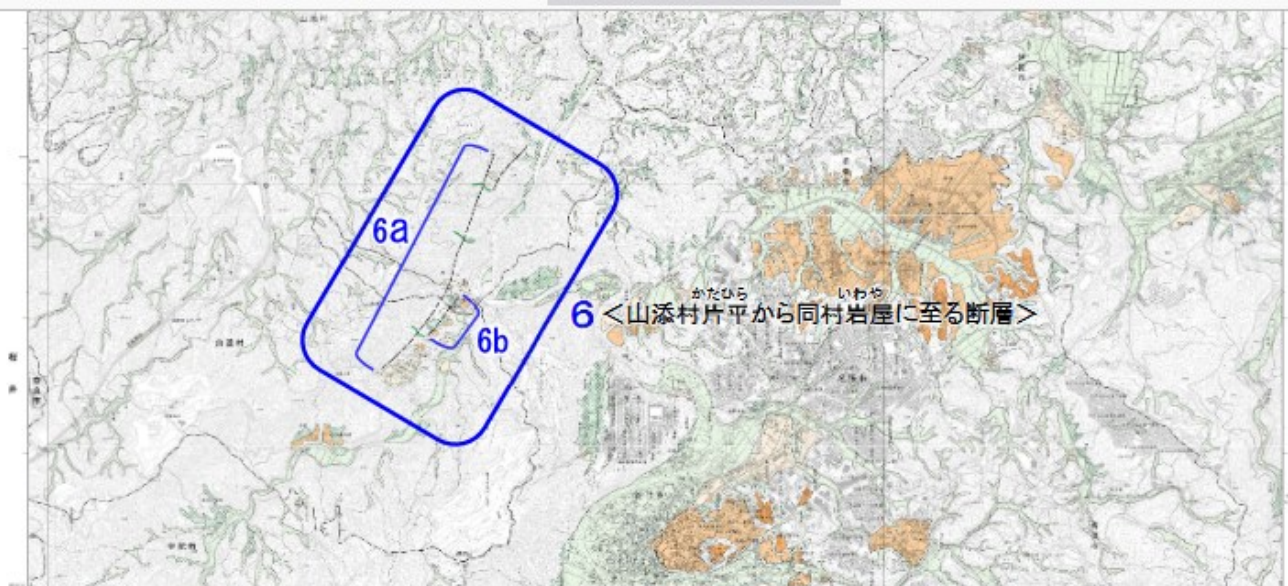
少しでも読みやすくするために適当に拡大しましたが、詳細は国土地理院の HP をみてください。(<https://maps.gsi.go.jp/>)



同上上部拡大図



下部拡大図



活断層
Active Fault



最近数十万年間に、概ね千年から数万年の周期で繰り返し動いてきた跡が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層。明瞭な地形的証拠から位置が特定できるもの。

活断層(位置やや不明確)
Active Fault
(site indistinct)



活断層のうち、活動の痕跡が侵食や人工的な要因等によって改変されているために、その位置が明確には特定できないもの。

活断層(活撓曲)
Active Flexure



活断層のうち、変位が軟らかい地層内で拡散し、地表には段差ではなくたわみとして現れたもの。たわみの範囲及び傾斜方向を示す。

活断層(伏在部)
Active Fault
(concealed)



活断層のうち、最新の活動時以後の地層で覆われ、変位を示す地形が直接現れていない部分。

横ずれ
Strike Slip



活断層の相対的な水平方向の変位の向きを矢印で示す。

縦ずれ
Dip Slip



断層の上下方向の変位の向き。相対的に低下している側に短線を付す。

地震断層
Earthquake Fault



地震の際に地表に現れたことが確認された断層。(地すべり・地盤沈下・液状化等に伴う変位であることが明らかかなものは除く)

トレンチ調査地点
Trench Survey Site



活断層の通過地点に調査溝(トレンチ)を掘り、断層運動の解読調査を行った地点。(これまでに各種調査研究機関等によって調査が実施されたもの)

活断層露頭
Active Fault Exposure



最近数十万年間に堆積した砂礫層などを切断し、活断層であることが確実に判明した露頭。現在は露出がなくとも記載。

記号

活断層等の名称
Name of Active Fault etc

野島断層(例)

活断層等の固有名称。

推定活断層(地表)
Presumed Active Fault



地形的な特徴により、活断層の存在が推定されるが、現時点では、明確に特定できないもの。

推定活断層(地表)
(位置やや不明確)
Presumed Active Fault
(site indistinct)



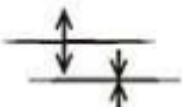
推定活断層のうち、位置が不明確なもの。

推定活断層(地下)
Presumed Active Fault
(by prospecting data)



新しい地層に覆われて、断層地形が地表で確認されていないが、既往のボーリングや物理探査によりその存在が推定された活断層。

活褶曲
Active Fold



現在も続いている地殻変動により生じている波状地形。凸部または凹部を連ねた線で図示。

地形面の傾動方向
Tilting Surface Direction



地形面が、現在も続いている地殻変動によって傾いている場所。最大傾斜方向で図示。

利用上の注意

1. この図の特徴

この活断層図は、陸部の活断層の位置に関する最新の調査成果に、地形分類を加えて作成しました。

2. 活断層とその区分

この図における「活断層」とは、最近数十万年間に約千年から数万年の間隔で繰り返し活動してきた跡が地形に明瞭に表れており、今後も活動を繰り返すと考えられるものをいいます。このうち、風雨による侵食や堆積、また開発の影響などで活断層の位置を明確に表示できない区間は破線で、活動の跡が土砂の下に埋もれてしまっている区間は点線で示しています。

また、活断層の可能性のある地形であるが活断層以外の原因でできたとも説明できるもの、または、今後も活動を繰り返すかどうか明確に判断ができなかったもの、あるいは、他の調査結果から地下に活断層の存在が推定されたものは「推定活断層」として表記しました。

3. 未知の活断層の可能性

この図で緑色で示されている地域（扇状地・沖積錐、沖積低地、または埋立地・干拓地と示されている所）は、川が運んできた土砂などによって最近数千年間に形成された土地です。ここでは今回の調査で確認できなかった未知の活断層が埋もれている可能性も残されています。

4. この図から把握できることの限界

この図では、それぞれの活断層が過去にいつ動いたのかは調べていません。従って、それぞれの活断層がいつ動くか、言い換えれば、この次の地震が起こるのはいつなのかについては、この図からはわかりません。

一般に、活断層が過去にいつ動いたかについては、活断層が通っている地面を掘り下げて調査することによってある程度調べることができます。しかし、活断層が今後いつ動くかについて言い当てることは、現在の科学水準ではきわめて困難であると考えられています。

5. この図を引用する場合の記載例

堤 浩之・熊原康博・小山拓志・杉戸信彦・岩佐佳哉（2021）：1:25,000 活断層図「上野」、国土地理院。

1:25,000

上 野

500 0 500 1,000 1,500m



令和 2 年調査・編集

許可なく複製を禁ずる

著作権所有

国土地理院

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
029 (864) 1111 (代表)

国土地理院技術資料 D1-No.1038

